

# 阪神金属興業株式会社 SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、  
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2022年3月24日

阪神金属興業株式会社  
代表取締役 川本 泰行

## ◆経営方針

スタンバイミー・カンパニーを目指す。

## ◆目指す姿

- 1.お客様：我が社に関わる全ての方が得をし、環境にも優しい関係を築き、さずけ合うことを一番に考えます。
- 2.仁：取引先のことを思い、社内メンバーのことも思い、そして地域住民のことも思う、想う人を育てることを一番にします。
- 3.礼：行動には礼を一番とし、徹底いたします。

## SDGsの達成に向けた取り組み

### 循環型社会の一翼を担う

ステンレスリサイクルのパイオニアとして循環型社会の一翼を担っております。培った技術やノウハウを活かし、さらなる地球環境改善に寄与してまいります。

#### <具体的な取り組み>

モリタ製35PAL型プレス機による減容化／独自の技術とノウハウで高品質商品を提供／高性能なポータブル金属分析器による徹底選別

#### — 関連ゴール —



### 地球に優しい社会環境を構築

物を創って使用するのみの社会構造を改善し資源の有効活用、さらに再利用することが使命との認識のもと、リサイクル事業活動に邁進いたします。

#### <具体的な取り組み>

金属選別・仕分けを徹底し極限のリサイクルを実践／高感度放射能探知装置の導入により、放射能対策を万全に行い環境配慮へ寄与する

#### — 関連ゴール —



### カーボンニュートラルの実現

集まった使用済みステンレスを原料加工し、安定的に安心して供給することで社会貢献を行います。

#### <具体的な取り組み>

環境方針、環境目的、環境目標を定め、実現を図るとともに定期的に見直すことで、環境マネジメントシステムの継続的改善を推進し、汚染防止に努める

#### — 関連ゴール —



### 従業員満足度の向上

自分の可能性に「挑戦・進化・向上」の夢を持つ社員を一人でも多く増やせるよう、労働環境の改善や働き方改革を進めてまいります。

#### <具体的な取り組み>

全社員に対して環境教育を行い、社員ひとりひとりに環境活動への理解と意識の向上を図る

#### — 関連ゴール —



## SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称。  
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

